

[特集]

人生の最終段階を 支える医療

患者の歴史と医療をつなぐ

企画：水野慎大

[Chapter 1]

終末期における医学的知識を見直す

- | | | |
|----|---------------------|------|
| 6 | 終末期医療を取り巻く現状と課題 | 古元重和 |
| 11 | エビデンスから見直す終末期医療 | 官澤洋平 |
| 17 | 終末期に必要な緩和ケア的知識を整理する | 中島 豪 |
| 23 | 「決める」を目的化しない ACP | 水野慎大 |

[Chapter 2]

機能別の強みを整理する

- | | | |
|----|----------------------------------|-------------|
| 27 | 終末期における急性期医療の位置づけ | 安本有佑 |
| 35 | 地ケア(地域包括ケア)病棟と地メディ(地域包括医療)病棟の使い方 | 仲井培雄 ほか |
| 39 | 療養病棟における日常 | 泉山久代・久富木原健二 |
| 42 | 在宅「でも」できること、在宅「だから」できること | 水落紀世子 |
| 49 | 介護施設における終末期医療 | |
| | 家族と見つめ直す入居者の歴史、家族との話し合いの意義 | 堀切康正 |
| 53 | 終末期に緩和ケア病棟でできること | 柏木秀行 |

[Chapter 3]

シチュエーションごとの終末期医療を考える

- | | | |
|----|-----------------|-----------|
| 59 | 救急現場 | 坂本 壮 |
| 63 | 精神科領域における終末期医療 | 石田琢人 |
| 66 | 子どもの終末期医療の特徴と実践 | 宮本二郎 |
| 69 | 離島における現状 | 前田隆浩・井上効子 |
| 73 | 地域で生き抜くことを支える | 小平のり子 |

[Chapter 4]

終末期医療を支える支援チーム

- | | | |
|----|---------------------|------|
| 81 | ソーシャルワークで支える | |
| | ナラティブでつなぐ終末期医療と社会資源 | 荒井浩道 |

86	看護師視点で支える	江南沙里菜 ほか
90	リハビリテーションの使い方	松本弥一郎
93	家族の悲嘆を視野に入れた医療の使い方	塩田修玄
98	臨床宗教師の関わり	高橋 原
[Chapter 5]		
終末期医療を学際的に見つめ直す		
103	終末期医療における宗教	沼口 諭
106	社会学的視点からの終末期医療 ネガティブ・ケイパビリティの必要性	仲野 彩 ほか
109	建築と医学の交点からみる終末期患者の療養環境	小田浩之
[対 談]		
113	「正解」を求める医療から、人生の物語を「聴く」ケアへ 医師と僧侶が語る終末期の誠実さ 水野慎大 [司会]・沼口 諭	
[連載] 臨床力向上のための厳選 Q&A 糖尿病・内分泌代謝・電解質の極意		
	第 6 回 骨密度だけ見ていませんか？ 骨折リスクから考える 骨粗鬆症治療戦略	辻本哲郎 123
医療の不確実性に向き合う		
	不明・複雑・変わりゆく病状、正解がわからないときにどう対応するか	
	第 16 回 医療・福祉のモヤモヤ(後編) 私たちはどこまで医療に人生を委ねるのか	ざこうじるい 131
イメージで捉える呼吸器疾患		
	第 39 回 脊椎結核(Pott 病)「微熱と右背部痛が続きます」	皿谷 健 135
Focus On		
	厚生労働省で働く医系技官の一例を通じたその業務の紹介	千葉晶輝 143
[投稿] Photo Report		
	自然経過を観察しえたセフトリアキソン関連胆嚢結石症の 1 例	藤田欣也 121
[記事] 最新の臨床 WEB ～臨床雑誌「内科」出張版～		
	非小細胞肺癌(NSCLC)	149
[書評] 細菌性髄膜炎・単純ヘルペス脳炎診療ガイドライン 2026		
	心エコー EF 目合わせ[Web 動画付] 毎日 10 分、ブレない EF	下畑享良 33 泉 知里 57
	スタンド・バイ・ミー 研修医のためのクイックリファレンス	清田雅智 79
新刊書案内 101		
寄稿規定 150		
読者アンケート 151		
バックナンバーのご案内 152		
バックナンバー購入申込書/購読のご案内 154		
次号特集予告 155		
編集手帳 156		

著者ならびに出版社は、本誌に記載されている内容について最新かつ正確であるよう最善の努力をしております。しかし、臨床検査、薬剤の情報、および治療法などは、医学の進歩や新しい知見により変わる場合があります。また、誌面の都合上、一部解説を省略させていただいている箇所もございます。実際の診療にあたっては、最新の添付文書などの情報を併せてご参照くださいますようお願いいたします。